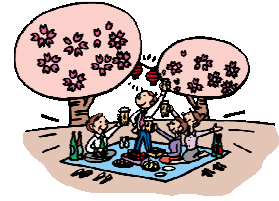


# 山行報告



## 六甲（紅葉谷道・百間滝～天狗岩南尾根）

日 時：2月12日(日)

参加者：La 須増 SLa 本多 足立(美) 岡本 河合 小山 瀧原 三浦  
Lb 松下 SLb 渡邊(俊) 大谷 狩集 嶋澤 多木 野村 和田

行動記録：有馬温泉駅 9:40～ロープウェイ有馬駅 9:57(10:05 発)～紅葉谷手前(体操) 10:17  
(10:25 発)～紅葉谷出会 10:32～七曲滝 11:10～百間滝 11:58～似位滝 12:07～  
紅葉谷道 12:25～極楽茶屋跡 13:03～ガーデンテラス 13:25(14:18 発)～  
みよし観音前 14:27～天狗岩南尾根 14:45～寒天橋 16:00

### ★ 六甲紅葉谷道・七曲・百間滝

#### 多木

2月12日今年は、私の参加している山行は、寒い日ばかりで今日も勇気を出してコタツから出る。和田さん(気象担当)よりメールで、「今日(10日)のMapionnの予報では、昨日の予報より気温が低めになっています。最高8度最低-4度、朝方は防寒を心がけておく必要があります。」寒いとの一言つぶやく。よくよく考えれば今日は、氷瀑を鑑賞するんだと納得する。神鉄有馬温泉駅集合9時30分。谷上駅の待合室で時間調整する。空調がきいていてしかも売店が有り便利。コーヒーを飲みながら優雅なひと時を過ごし厚化粧(日焼け止め)をする。皆さん元気に集合しスタート紅葉谷へと向かう。意気込んでいるせいか少し温いと思う。まずは、七曲滝へと入って行くも下からの道は、凍っていて残念。引き返し上からの道に行く。さすがに大勢の人が氷瀑を鑑賞するためやっと一人しか通れない道幅のところに押しかけたもので一苦労。交わすにも厚かましく割り込んでいかなければ何時までたっても行けない。苦労の末やっと到着。さすが七曲の滝氷瀑。ダイナミック眼下に滝が凍っているのを手にとって見る事が出来感激である。普段見

かけない物だけに自然の偉大さをしみじみと感じる。写真を配信して頂き、改めて写真を眺め・眺め、凄いと感激する。

次に、百間滝。上から降りていく。下り始めて少し行ったところが滝の頂上に当たるも始めは、分からず下から眺めて気付く。上から入って行くため50～60メートル位下行って行く。降りていきながらも横から凍っているのが見える。ここも沢山の人盛り。奥へ入って行くと似位滝である一部道が凍っているところがあるので注意するもアイゼンの必



要なし。これだけ滝を鑑賞できれば満足である。ガーデンテラスで昼食するが寒さに勝てず震える。今は、閉鎖になっている阪急のホテルの前を通過し少し行ったところを折れると天狗岩南尾根へと行く。年配のハイカーの方と出会い天狗岩の説明を聞く。岩の形が天狗の顔をしており、しかもちゃんと鼻が曲がっているのがはっきりとしているとの事。少

し降りて行ったところから岩を見ると分かる。南尾根も良いコースであり寒天橋に到着。寒天橋 からゆっくりと歩き阪急御影駅へと向かう。今日は、天候も良く「氷瀑を鑑賞する」事もでき皆様と楽しく過ごせ楽しい日でした。参加者の皆様有難うございました。

## 淡路先山と広田梅林

日 時 ; 1月16日 (木)

参加者 ; L 荘所 SL 砂川(延) 阿蘇 池尻 澤田(卓) 澤田(律) 瀬尾 水上

行動記録 : 阪神高速明石SA 9:00—洲本IC 9:45—先山登山口 10:15(10:35 発)~不動明王

10:50~10丁の石碑 11:15~東の茶屋 11:40~千光寺 11:45(12:40 発)~9丁の石碑

13:00~下内膳登山道分枝 : 13:10~先山下山口 13:45—広田梅林 14:15(14:45 発)

— 千年一酒造 15:30(16:10 発)—東浦サンパーク 16:45 (17:45 発) 解散

### ★ 淡路島 先山 (千光寺) 黒岩水仙郷に行けずに残念！！

#### 池尻

随分前に行った黒岩水仙郷にもう一度行ってみたいと思って、先山の山行に参加しました。

始めは5名、女性3名と少なく、自家用車2台で行くことになりました。明石SAで集合し、明石大橋を通り洲本ICまでドライブ1時間余りで上内膳登山口に到着。登り始めて1時間余りで先山(448m)千光寺に着きました。

先山には三角点はなく千光寺が山頂で、淡路富士と呼ばれているそうです。千光寺は902年の創建と言われる古刹で境内には荘厳な雰囲気の本堂、三重塔、鐘楼堂、梵鐘は弘安6年(1283年)の銘があり国の重要文化財です。素晴らしいお寺に皆感動です。千光寺を一回りし昼食、14時頃下山。

行きたいと思っていた黒岩水仙峡は花が終わりとのことで広田梅林に変更・・・

梅も残念ながら蕾も堅くちらほらでした。梅林もそこそこに次は皆さんお待ちかねの千年一酒造の見学、試飲。この酒造会社のお酒は県でも龍力と一、二を争い、全国で何度も金賞を取っているそうで、淡路島で70%のシェアがあるとのこと。皆さん何杯も試飲していました。(運転手以外)それぞれに好きなお酒をお土産に(Mさんは7本も買われました。)

恒例の温泉(東浦花の湯)で汗を流し帰路に着きました。明石大橋にレインボーの電気が点灯していました。



## 六甲全縦トレーニング

日 時 : 2月19日(日)

参加者 : L 砂川(延)SL 尾越 池田 大瀬 岡本 北村 切貫 嶋澤 須増 関山 高橋  
多木 本多 松下 三浦 森川 和田

行動記録 : 須磨浦公園駅 6:20~須磨浦遊園 6:45(6:50 発)~高倉団地 7:30 (7:33 発) ~横尾山  
8:07~須磨アルプス 8:20(8:30 発)~妙法寺 9:10(9:15)~高取山 10:10(10:20 発)  
~丸山・登山者のトイレ 11:00(11:05 発)~神鉄鶴越駅 11:08~菊水山下チェック P  
11:25~菊水山下ベンチ 11:46(11:51 発)~菊水山 12:20 (12:33 発) ~鍋蓋山 13:33  
(13:43 発)~大竜寺前 14:10~市ヶ原 14:23 (14:31 発) ~学校林道分枝 15:20 (15:25)  
摩耶山 16:02(16:18 発)~三国池南東屋 17:10(17:15 発)~記念碑台 17:40~ガーデ  
ンテラス 18:07(18:18 発)~一軒茶屋チェック P 19:00 (19:11 発) ~大平山下 20:31  
~大谷乗越 21:00~塩尾寺 21:49~塩尾寺ゴール 22:00~宝塚駅 22:24

### ★ 六甲全縦トレに参加して

今日は、以前会におられたという方1名を含め18名の参加です。私は、昨年のトレに引き続きこれが2回目のチャレンジでした。

昨日雪が降ったので心配していたが思っていた通り、おらが茶屋あたりから下りの凍結に非常に悩まされました。おそろおそろ歩いてもすべってしまう。時折、ばたっという誰かがすべっている音も聞こえてくる。終電までに宝塚までという時間制限がある中、スローペースをよぎなくされ、寒さも厳しく非常に大変な行程となった。

高倉台の400階段、高取山、菊水山、鍋蓋山、摩耶山、難所がわかっている分、去年より気持ち楽である。といってもハードな難所が次から次へとでくるので体力と気力を全力でふりしぼりきらねばこなせない。特に摩耶山の長い登りが最大の難関である。登れるかなとぼやいてたら、Mさんが大丈夫とすかさず後ろから声をかけ



### 岡本

て下さり、サポートをありがたく感じました。今日もたくさんの方とのふとした会話で、元気をいただき、会で歩くことのありがたさをいっぱい感じさせていただきました。

六甲ガーデンテラスに着いたころには、真っ暗になっており、最高の夜景が目の間に広がりました。ヘッドランプを装着して、又ここからも、もくもく歩きました。歩いても歩いても道ばかりでゴールがなく見つかったです48km。本当寒くて怖くて過酷で大変でした。

今回は5名の方がリタイアされた。それだけ全縦は過酷なんだと思い知らされます。このハードルの高い

所が全縦の魅力であったり、目標となる所以ではありますが、通常の山行と違って、別世界で急に高すぎるよな〜とつくづく思う。

リーダーをはじめ、そんな過酷な1日を一緒にしていただけました17名の方に感謝致します。ありがとうございました。

夜の凍った山道ハイクはスリル満点でした。3回も転んだし…貴重な体験でした。六甲山頂の夜景は超豪華版でしたが…16時間は正直キツかったです(TへT)

## 笠形山

日時：1月29日(日)

参加者：L上田 SL西村 狩集 蔵田 武田 坂田 森永

行動記録：山電高砂駅・JR宝殿駅8:00 出発→グリーンエコー笠形9:00 (9:15 発)～キャンプ場9:30 ストレッチ(9:40 発)～扁妙ノ滝10:00(10:05 発)～滝見台10:20(10:25 発)～5合目10:55 (11:00 発)～笠形山頂上12:05 (12:50 発)～5合目13:40 (13:45 発)～キャンプ場14:35～グリーンエコー笠形入浴15:00 (16:10) 解散

### ★ 素晴しかった扁妙の滝

何十年ぶりに行く笠形山。どのように変わっているか?なかなか行けなかったが、やっと実現。娘の時は、神社横から登っていたので扁妙の滝は、気付かなかった。グリーンエコー笠形で2月6日から毎日滝の写真が壁に貼ってあった。昨日は滝の中央部が余り凍ってなく岩肌が見えていた。9時登山、1合目～3合目までは、比較的急な登り。途中滝があったが、凍ってなかった。上田さんが「水量が多いと凍りにくい」と教えて下さった。そこから少し行くと扁妙の滝、なんと滝全体が凍っているではありませんか。その迫力に感激「雪が少なくこんな滝を見るのは初めて」と上田さん…。写真を撮り少し登ると滝見台があり、そこからは滝の上部から見え、下から見るより大きな滝でした。滝を眺めていると青空で周りの木に雪もないのにキラキラと下から湧き上がってくるものがありました。「これは、きっとダイヤモンドダストね」としばらくその幻想的な景色を楽しんだ。そこから中腹を巻いて進むので平坦な道。途中昨年の台風で倒れた倒木が多く有り「県民税で緑の整備をするため800円取っているのになかなか手が付けられないなあ」と上田さ

### 森永

んが言われた。6合目～頂上は、また急な登り。12時頃頂上に着き昼食。着いた時は、下の村が見えていたのに雪が舞い始め温度計が0度を指していた。写真を撮り、下りはアイゼンを付け歩行訓練をした。素足より滑りにくく歩きやすかった。15時エコー笠形に帰ってきました。ゆっくりと湯船に浸かり冷えた体はポカポカ…7名で、まとまりやすく楽しい山行でした。皆さま有難う。



## 八ヶ岳 スノーシュー（北横岳、縞枯山周辺と蓼科山、入笠山散策）

日 時：2月25日(土)～27日(月)

参加者：L 砂川(延) SL 西村 池尻 大石 大谷 蔵田 砂川(美) 瀬尾 田羅間(易)  
巻藁 舛賀 三木(悦) 渡邊(俊)

行動記録：

2月25日(土)：山陽高砂駅 8:30 発－JR 宝殿駅 8:45－JR 加古川駅 9:00－三木 SA9:56－多賀 SA11:30(12:10 発) (昼食)－駒が岳 SA14:30(14:57 発)－伊那 IC 経由高遠 15:30(15:40 発)－「すばる」17:10

2月26日(日)：「すばる」8:30－入笠山・富士見パノラマスキー場 10:20－ゴンドラリフト山麓駅 10:45－山頂駅 10:55(11:25 発)～入笠山頂上 12:30(12:45 発)～ゴンドラリフト山頂駅 13:10(13:40 発)－山麓駅駐車場 14:50～「すばる」着 16:30

2月27日(月)：「すばる」8:30～ピラタスロープウェイ山麓駅 9:00～ピラタスロープウェイ山頂駅 9:10(9:25 発)～北横岳ヒュッテ 10:05(10:05 発)～北横岳頂上 10:25(10:30 発)～北横岳ヒュッテ 10:40(10:50 発)～ピラタスロープウェイ山頂駅 11:25(11:40 発)～「すばる」12:00(13:00 発) (昼食)－宮坂醸造 14:20(14:40 発)－諏訪 IC14:55－諏訪湖 SA15:00(15:10 発)－駒が岳 SA15:30－恵那峡 SA16:10(16:20 発)－養老 SA18:00(18:30 発) (夕食)－三木 SA20:20(20:30 発)－JR 宝殿駅 21:25－山陽高砂駅 21:40

### ★ 満喫した八ヶ岳・スノートレッキング

山行の日が近づくにつれ、心ここにあらず、毎日雪の八ヶ岳を想っていました。

出発日：雨・・・明日から晴れるのを願い、桜の名所高遠城跡経由で、八ヶ岳・山麓へ向かいました。標高1700mの蓼科高原・ピラタスの丘に建つ宿、Lの知人が経営する素敵なペンション「すばる」に到着、そこはも

### 三木

う白銀の世界です。ここから私の三日間の感動が始まりました。

二日目：曇り、富士見パノラマリゾート・ゴンドラ山頂駅(1780m)からスノーシューで、入笠山(1995m)へ登って来ました。ゴンドラから見える八ヶ岳連峰に感激し「わぁ～凄～い」思わず歓声が上がりました。

頂上で富士山が見えなかったのが少し残念です。でも、スノーシューで入笠山に登れたので大満足。平地ではスッと滑らしパフパフと踵をあげて歩くスノーシュー、初めて体験しました。歩き難いのではと、心配したが意外と大丈夫、いつもより、下を気にしなくていいから景色も見られます。登りはちょっと苦戦したが、下りの急斜面では遊び心満載のLに続き、お尻滑りをして楽しんで



きました。

三日目：やった～！快晴です。朝一番（9時）のピラタス蓼科ロープウェイで坪庭へ、車窓からは、日本三大アルプスの大パノラマが目の前に広がります。夢のようです。

山の名前を教えてもらいながら空中散歩、どこを見ても山・山・山、雄大で素晴らしい風景です。山頂駅到着、一面がキラキラ光り、雪の白と空の青のコントラストがとても美しく、樹氷や海老の尻尾も出ていました。雪山の自然美を堪能しました。

ここでも駅付近は、スキヤーとボーダーがいっぱい、私達はアイゼンを付けてスノートレッキング、アイゼンを付けて長時間歩行も初めてですが、事前トレのおかげで、なんとか歩けました。坪庭～北横岳登山口へ、そこから樹氷のトンネルをぬけながら北横岳南峰（2472m）に登頂、360度の展望、頂上の風の冷たさ寒さは一級品でした。写真撮影だけして急いで下りてきました。予定通り12時に宿に戻り、昼食につきたての餅入

りぜんざいを頂きました。身体が温まりホットしました。美味しかった～！

滞在中「すばる」の食事はとても美味しく、二晩、ワインとお酒で乾杯！二日目の夕食にはサプライズでIさんのwedding乾杯！皆で祝福しました。

今回、初めて雪上の山行に参加して本当に良かった。スノーシューで入笠山、アイゼンで北横岳に登れた事に感激し、雪上を歩く楽しさを知りました。何よりのアルプスの雪景色に感動しました。人と人のつながりの大切さも改めて感じました。

山行を計画し、そして長距離運転して下さったLに感謝します。本当に有難うございました。寒い中、Lと一緒にタイヤチェーンの着脱作業して下さったMさん、Wさん有難うございました。お疲れさまでした。参加した皆さんお世話になりました。

## 明神山

日時：2月26日(日)

参加者：L上田 SL須増 足立(光) 金島 小山 澤田(卓) 瀧原  
中嶋 野村 長谷川(孝)

行動記録：山電高砂駅・JR宝殿駅 7:55→夢のさと駐車場 8:55(9:20 発)～大明神コース入口  
9:55～明剣岳 10:27 休憩(10:50 発)～三角点山(343m) 11:05～五郎山(550m)  
12:27～小明神山(620m) 12:43～明神山(668m) 12:58(13:51 発)～八合目 14:02～  
六合目 14:22～五合目 14:32～観音滝 14:50 休憩～岩屋池 15:04～駐車場 15:10



## ★ 姿一番の「播磨富士」明神山に登る

夢前「夢のさと」の駐車場から真北に明神山を仰いで出発、登山口の案内板を見過ぎて右往左往のあと登山道取りつきの急斜面をよじ登って尾根の先端に立つ鉄塔について一

### 上田

息入れる。最初のピーク、明剣岳を巻くように登って、ここから明神山の北東600m程にある五郎山(550m)からのびる大きな尾根に乗って北に向かって進む。小さなピー

クのアップダウンを繰り返して11時に343mの三角点山に着く。

出発前に地元の人であろうか明神山に足繁く登っている人から「猟期は終わったが、鹿の駆除のために猟師が入っているから気をつけよ」と聞いていたし、犬の音が聞こえたりするので休憩場所も「登山者だとわかってもらえるところ」をと、普段にない神経を使う。三角点山からは鉄砲岩、たぬき岩、衝立岩と続くが、前日の雨で濡れていることも加わってこの岩場の通過がなかなか厳しい。尾根に乗ってアップダウンを繰り返しているが高度はあまり上がっておらず、衝立岩を下ったところでは300mくらい。ここからしばらく登りが続き五郎山に12時過ぎ着、しばし休憩。昼食は少し遅くなるが明神山ですることにして、方角をかえて尾根上を南西に進む。明神山は目の前に見えてはいるが、まず急傾斜の小明神をこえ、山頂下の岩場をつめて13時ようやく明神山に登りつく。

山頂は360度の展望が楽しめる。空は雲に覆われてはいるが午後の陽射しがあるのか東方の七種山や七種薬師がよく見え、その後

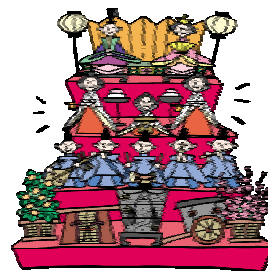
に笠形山が大きな姿を見せていた。

気温は低かったが、昼食時間をたっぷりとってBコースを下山する。この下りも急傾斜で厳しく、いっぱい張りめぐらされたトラロープの助けを借りて慎重に下る。A・Bコース共通の尾根を下った後、Bコースは尾根からはなれ岩屋川に沿って谷を下る。一枚岩の「長滑ら」をすぎて丸太を組み合わせた橋を渡ると林道に出てようやく緊張がとける。観音滝に立寄ったあと岩屋池から明神山を眺める。播磨地方にも高御位山、笠形山、妙見山など〇〇富士と呼ばれる山はたくさんあるが、この山が「姿一番」といわれる由来はどの方向から見てもきれいな富士山形に見えるからであろう。

傾斜がきつくなかなか厳しい山で、登山口を見落とすなどいさかたよりないリーダーだったがみんなの協力で15時過ぎに無事下山、夢やかたに寄って帰路についた。



# 山行報告



## 鉢ヶ峰 尾道散策

日 時：1月9日(月・祝)

参加者：La 上田 SLa 澤田(律) 阿蘇 足立(美) 河合 小山 砂川(美) 竹内 水上  
Lb 砂川(延) SLb 待場 井上 大谷 狩集 澤田(卓) 瀬尾 武田 長谷川(易) 森永  
Lc 尾越 SLc 和田 内海 金島 切貫 塩津 瀧原 野村

行動記録：J R 姫路駅 6:35 発 万富乗換 糸崎駅 9:48 ~ 鞆鉄バス糸崎駅前 9:54 発 赤石  
10:10 ~ 登山口付近(ストレッチ) 10:15(10:25 発) ~ 中休大師堂 10:40 ~ 清水堂  
10:45 ~ 奥の院本堂 11:00(11:15 発) ~ 鉢ヶ峰頂上(昼食) 11:25(11:50 発) ~  
御山公園 12:30(12:35 発) ~ 糸崎神社 12:55 ~ J R 糸崎駅 13:15(13:21 発)  
尾道駅 13:30 ~ 散策(3時間) ~ 尾道駅 16:32 発(現地解散)

## 鉢ヶ峰 尾道坂の街

憧れを持っていた尾道 いざ歩くと 何と  
大変な事か!?

細く急な坂道を歩き、赤い幟の地藏様の登  
山道へ入って行くと八十三、八十二・・・と沢山  
の地藏様に迎えられた。寒さも嘘の様に、汗  
が噴き出る体に心地良い風が通り抜ける。

「清水堂」の水場で一息つき、観音寺で鐘  
楼を打ち鳴らすと瀬戸に浮かぶ島々に春を告  
げている様に思われました。「のどかなり、ゆ  
たりゆたりと、瀬戸の海」を眼下に、鉢ヶ峰  
山頂にて、何時も乍の楽しいランチタイム。  
下りは落葉に埋もれた急な登山道をロープを  
伝って、滑らない様にと思いながらも又、恒  
例の滑りポーズを披露してしまいました。

賑々しく「尾道駅」に下車、マップを手に  
千光寺へ。え～～階段上るの? もうーいや～

## 武田

と思いながらも、趣のある景色に文学碑に魅  
せられて頂上へ・・・ロープウェイのお世話  
で下山。

尾道ラーメンに気がはやる。少し油っぽ  
いが麺が美味しい! 林英美子記念喫茶店にてコ  
ーヒーでお疲れ様をする。まさに「青春切符  
で青春」を満喫した一杯感謝の小旅行山行で  
した。

お世話にな  
り、ありがと  
うございました。





## 熊山

日 時；1月12日(木)

参加者；L渡邊(俊) SL砂川(延) 大谷 小山 佐々木 多木 瀧原 藤田(文)  
松下 水上 和田 巻藁

行動記録：姫路駅発7:16 8:43香登駅(ストレッチ)9:00～登山口9:10～熊山遺跡  
11:00〔昼食〕11:35(発)～熊山神社 11:50～下山口(ストレッチ)12:50  
(13:10 発)～万富駅 13:45(14:20 発)～〔工場見学〕キリンビール 14:25  
(15:55 発)～万富駅 16:00(16:05 発) 姫路駅着 16:48 解散

### ビールを飲みに、山越えて(備前、熊山)

山の名前は熊山。越えて行く先はキリンビール岡山工場。熊山という名前には、どちらかというところドブクが似合うと思うが・・・などと思いながら、宝殿駅に向かう。ホームに雪がちらつき、ますます、ドブクだよこれ。赤穂で乗り換え香登へ。香登駅は、無人駅だが、駅前には広場がありロータリーがある。ここで、準備体操。新幹線沿いに西に進み、防獣柵をくぐって、二之樋の尾根の突端より取り付く。

里山の落ち葉の道で、足への感触が柔らかく気持ちよい。道端に(合目でなく)“丁目”の石の標柱がある。尾根筋のはずだが雑木林で景色は見えない。10丁目の標柱付近(162ピーク近辺?)で、道から左にはいと展望が開け、眼下に吉井川の蛇行した流れと坂根堰が見おろせる。風はなく冬の日差しが心地よい。この天候なら、ビールも良いかもなどと気持ちは先行する。道中に数カ所のピークがあったはずだが、気付かぬうちに通過。削り丸太の幅の広い整備された階段の道となり瀬戸内海、小豆島、四国を一望出来る展望台に到着。広場にある管理棟の中で昼食を食べる。山の上で昼飯を、登山靴を脱ぎ座布団にあぐらで食べるのは初めての経験でした。

昼食後、マヤのピラミッドのような石積み熊山遺跡を横目で見ながら、熊山神社に向かう。

なんと、狛犬が陶器で出来ている。参拝後、

### 佐々木

門松の飾られた鳥居の前で記念撮影。

一路、ビールが待っている下界へと向かう。途中、龍神山と思しき辺りで視界が開ける。

蛇行する吉井川の河川敷に、何かのコースらしいものが見える。(万富の駅前の案内図によるとラジコンのサーキットとの事。)弓削に下山。広場でクールダウンのストレッチを行う。

広場の先の靴屋さんに寄り“靴の手入れ法等”の話をうかがう。非常に参考になりました。

万富駅で、工場見学のバ



スに乗り込みビール工場へ。最近の食品工場は、何処も綺麗(案内してくれる人も綺麗)ガラス張りの通路からの見学で、音も臭いも無し。缶コーヒーも醤油も皆同じ。違うのが、待ちに待った“試飲”。泡の肌理が細かく、さすがに美味かった。見学を終えて、バスで万富駅に。万富駅から相生駅まで酔いがまわって熟睡。相生駅からも熟睡。気が付けば姫路でした。(ビールを飲むのに寒くない)天候に恵まれて楽しい山行でした。

## 御津アルプス（嫦娥山・雄鷹台山）

日時：1月22日（日）

参加者：La西村SLa澤田(卓) 阿江 池尻 大石 岡本 狩集 小山 塩津 砂川(美)  
多木 開 三木(悦)

Lb 砂川(延)SLb 澤田(律)足立(美) 臼井 大谷 金島 蔵田 坂田 瀬尾  
武田 長谷川(孝) 平山 水上

行動記録：宝殿駅 8:45 発 室津魚港 9:30～登山口 10:25～嫦娥山 11:25（12:05 発）  
鳩が峰 12:35～雄鷹台山 13:20(13:25 発)～大浦分岐 14:05～五六見山 14:55  
(15:00 発)～アンテナ山 15:37（15:45 発）～柏公園 16:05～室津魚港 17:30 発  
宝殿駅 18:30

### 御津アルプス縦走&室津散策

相生～御津の東西を走る山脈・御津アルプスを今日は室津港近くから嫦娥山に登り縦走するコースです。播磨灘を眺めながらの山歩きを楽しみにしていました。心配した雨も上がり、参加者26名満席のバスで室津へ向いました。

たつの地方は、午前濃霧の予報通り、霧に包まれた山並みがとても美しく幻想的でした。

港で、今日のもう一つの楽しみ、“魚魚市”の手作りお弁当をもらい、広場でMさんの号令のもと丁寧なストレッチをして登山準備完了です。

港近くの登山口から、まず嫦娥山を目指します。大浦湾を隔てて見る嫦娥山は稜線が美しく、谷崎潤一郎の小説『乱菊物語』に出てくるロマンの山、らしいが・・・登山道はいきなり荒れた竹やぶの急坂で、雑木林も落葉が濡れて歩きにくく、ロマンの文字は、いつのまにか私の頭から消えてまいした。漁港や街が見える絶景ポイントを過ぎたら、笹や雑木に囲まれた嫦娥山の山頂に到着しました。山頂で食べた特製のお弁当がとても美味しかったです。

昼食の後は嫦娥山を下って、下って、下って・・・鳩が峰へ下りてきました。峠では歴史を感じさせる石垣や室津街道の説明板もあり、少し歴史の散策をしました。木製の手作り風車、看板<室津街道>も趣が

### 三木

あって良い感じです。鳩が峰～御津アルプス最高峰の雄鷹台山（310.6m）～五六見山をピストン～柏登山口までの縦走路は、小さなピークながらアップ・ダウンの繰り返し結構きつかった！それでも数ヵ所ある展望ポイントからは、幾つか浮かぶ家島諸島の島々や、遠くには小豆島も見え美しい景色を楽しむ事ができ、どのポイントからも絶景で、穏やかな瀬戸内の海が風にゆれ美しく光っているのが印象的でした。アンテナ塔ピークからの下りは路迷い？と、ひやりとしましたが、無事、柏公園に下りて来ました。

下山後は、「御津める室津観光ガイド」のバッチを付けた柏山さまの案内で、一時間、室津の街を散策しました。文化財指定の賀茂神社の歴史や建造物、江戸時代シーボルトが訪れ播磨灘の景色を絶賛した場所や、三つの唐荷島の事、等々・・・歴史ある室津の街をとて分かりやすく説明していただきました。（皆さん歴史が好きですね！



縦走の疲れも見せず熱心に聴いていました。散策後は港で牡蠣や海産物のお買い物タイム。お土産に買った殻つきの牡蠣が

“プリプリ”でとても美味しかった！御津・室津の山・海・歴史にふれた充実した山行でした。

## 雄鷹台山（赤穂市）

日時：1月29日(日)

参加者：La 砂川(延) SLa 澤田(律) 阿蘇 池尻 臼井 武田 野村 森永 渡邊(俊)  
Lb 和田 SLb 中嶋 足立(美) 内海 澤田(卓) 瀬尾 瀧原 長谷川(易)

行動記録：高砂駅北 8:00 - 宝殿駅北 8:15 - 坂越駅 9:25 ~ 登山口 9:35 ~ 後山頂上 10:17  
(10:40 発) ~ 雄鷹台山 11:05(11:45 発) ~ 大師堂 12:10 ~ 赤穂駅 12:30 - 唐船山  
12:53 - かんぼの宿 14:10 - 坂越散策 15:40 - 宝殿駅 16:45 - 高砂駅 17:00

### 赤穂 雄鷹台山から唐船山へ、そして坂越散策

#### 足立

今日は、先週山行の「御津アルプス 雄鷹台山」と同じ名前の「赤穂市の雄鷹台山」に登ってきました。「みなと観光バス」で赤穂の手前の坂越（さこし）駅前下車。入念なストレッチ後、徒歩10分程で「高山・



雄鷹台山登山口」です。標高251.1mの「後山」へは道幅狭く最初から結構急登で、途中で、横倒しのまま放置された車両に出くわしました。そこまでどうやって走ってきたのかも不思議ですが、冒険には失敗した様です。その後、目の前に、山が半分には切り裂かれた様な、土と岩が剥き出しの防火帯の急登が現れました。2度目の防火帯急登の後、さらに進むと「後山頂上」です。後山の三角点からは、坂越の田畑や町、その先には緑の帯のような千種川、坂越浦と生島が見事に見晴らせます。「スタジィ」等の木々に挟まれた防火帯の景観をくぐり抜けて雄鷹台山山頂（標高253m）でお弁当です。程よい山行で皆で頂くお弁当の美味しくて楽しい事！！そして下りは

両脇にはドウダンツツジ、眼前には赤穂の街並みのパノラマを見下ろしながらの下山です。坂越から赤穂へのルートが大成功でした。

次に赤穂駅で迎えてくれた「みなと観光バス」で赤穂海浜公園の先端に有る「唐船山（からせんやま）」へ。県下最低峰の高さ19mです。沈没した唐船の上に来た山と言い伝えが有るそうですが、歩くと不思議、足元がボコボコと共鳴する感じなのです。頂上では女性陣揃ってジャンプして、音を鳴らして来ました。山頂からは唐船サンビーチが直下に見渡せます。最低峰を踏破出来たことも今日の大収穫でした。

その後「かんぼの宿 赤穂」でポカポカに温まって、坂越の400年の老舗蔵元「奥藤酒造」の「郷土館」で江戸時代の酒造道具や廻船の資料を見学した後、地酒「忠臣蔵」やにごり酒のお味見をして益々ポカポカに。赤穂藩主専用休憩所「旧坂越浦会所」では赤穂段通や藩主のお昼寝部屋も見学して、帰路「しおさい市場」で海の幸のお土産も買って、山も海も楽しんで、家に戻ってからはお土産の殻付き牡蠣で再び赤穂を満喫して、幸せいっぱいの日でした。

リーダー和田さんを始め皆様、今日もお世話になりました。本当に本当に有難うございました。

## 摩耶山から徳川道、トエンティクロスへ

日 時：2月2日(木)

参加者：L 砂川(延) SL 和田 大谷 砂川(美) 瀬尾 多木 開 藤田(宏) 森川 渡邊(俊)  
澤田(卓) 澤田(律) 巻藁 瀧原

行動記録：新神戸駅(10:00 発)～熊内八幡(ストレッチ 10:18 発)～雷声寺(衣服確認  
10:25 発)～東山分岐点 10:55( 発 11:00 )～天狗道合流点 11:25～摩耶山掬星台 12:25  
(昼食 13:00 発)～徳川道～森林植物園入口 14:05 (14:15 発)～トエンティクロス  
～桜茶屋 15:00 (15:10 発)～みはらし小屋 15:35 (ストレッチ) 解散

### 冬の摩耶山

大寒波到来で、厳しい冷え込みである。前日、リーダーの砂川会長さんから摩耶山上の天気情報をメールで知らせていただいた。中止かなと思っていた私は「雪景色の六甲もいいのでは・・・」との言葉に、「よし、冬山を楽しもう。」と心を決めた。

新神戸では雪のため電車が遅れたので10時に出発。学校林道から登るルートは初めてである。住宅地を通り熊内八幡神社でストレッチ。雷声寺の何段もの石段を上り詰めたところから登山道へ入る。その前に衣服調整。迷った末、いつものように上着を脱いだ。これが甘かった。

順調に歩いていたが、風が強くなってきた。ゴッゴッと怖いくらいに唸っている。林の中を歩いているのでまだ、それほど寒くはない。徐々に風が冷たく染み込むようになった。2回目の調整で急いで上着を着た。服の合わせ方は難しい。神戸の街から明石海峡大橋まで見えるビュースポットでは普段ならゆっくり眺めているだろうが、今日は風が冷たいので早々に歩き始めた。天狗道に入ると、尾根歩きは風当たりがきつい。吹きすさぶ北風が頬にあたって突き刺すように痛い。岩やアップダウン、凍てついた雪に難儀しながら、下を向いて必死に前の人について行った。やっと掬星台に着いた。誰もいない。山遊会のひとり占めだ。周囲は雪景色で、大阪湾の展望が冴えている。温かい飲み物を口にするとほっとした。ふと見ると1羽のスズメが柵の上に飛んで来て、こちらを向いてしきりに口ばしを動かしている。澤田さんがご飯をほっ

### 瀧原



てやると、すぐにスズメは降りてきてそれをついばんでいる。目の前でついばむ仕草はなんとも可愛くて、スズメから歓迎のプレゼントをもらったような暖かい気分になった。

道の凍結を考慮して、徳川道から下る。「体を温めて」リーダーの指示に、しっかりとストレッチをして出発。車道を歩き、山上寺を過ぎた辺りから徳川道へ入る。徳川道は谷あいを通り整った道で歩きやすく、風が吹き付けずに暖かい。先人は条件のいい所に道を開いている。周囲を眺める余裕が出て、谷川に50cmほどのつららを見つけたときは、何年かぶりなので嬉しかった。道には一面に凍っている箇所があって、端っこを一足一歩いた。錦秋の頃にはにぎわいを見せていた市が原も、静寂に包まれている。小雪がちらつき始めた頃、新神戸に着き無事、冬の摩耶山山行は終わった。

厳しい寒さだったが天気は良く、冬の自然に触れられた楽しい山行だった。初心者の中には学ぶ点も多かった。リーダーはじめ皆様にお世話になり、ありがとうございました。

# 山行報告



## 東北ボランティア（兵庫労山 第2次隊）参加報告

日時：12月1日(木)～5日(月)

参加者：大谷 蔵田

行動記録：1日 大阪（スカイビル）19：30発 夜行バス 19：30-

2日 仙台着7：50(9：00発) - 日和山公園 10：55(11：20発) - 鮎川漁港 12：20  
- ボランティアセンター - 13：00(13：35発)-小淵浜（作業現場）13：40～  
16：00（ボランティア活動）16：20発 - 牡鹿交流センター-16：30  
（17：25発） - 水沼東部構造改善センター

3日 水沼東部改善センター7：00 - ボランティアセンター8：00（8：30発）  
- 小淵浜 8：40(11：00発) - ボランティアセンター - 12：00(13：00発)  
- 女川石巻海岸線視察-ボランティアセンター(昼食) 15：40  
- 牡鹿交流センター16：00(16：50発) - ボランティアセンター18：00(夕食)

4日 ボランティアセンター前9：00-12：00(側溝作業)(道具片づけ) - ホテル壮観  
14：05(15：00発) - 仙台 17：00(19：30発)

5日 大阪着7：40

### 東北ボランティア（兵庫労山 第2次隊）に参加して

大谷

前回は、牡鹿半島の先の金華山に船で渡ったので、移動に時間がかかり、作業が少ししか出来なかったように思う。

今回は、ボランティアセンターの近くの小淵浜の被災地で道路の側溝に埋まった土砂の撤去、スコップでの土方作業。足を踏み入れると、なかなか抜けない泥沼化した田畑で魚網等の瓦礫を撤去し、集積場にバケツリレーで運んだ。この日は雨風の中での作業だった。JTBのボランティアツアーと三重県の高

校生の人たちもバスで来ていて、一緒に作業したが、思ったほど片付いていない。この様なところが、まだまだあると思うと、復興には相当な時間が掛かるだろうな？

少し空いた時間に雨の中、前回と同じ女川町の被災地を視察して廻ったが、家の基礎のコンクリートだけが残っている所、半分もがれて建っている家を見るところで涙が出てくる。少しでも早く生活感のある町、村になっていくことを願わずにはられません。

### 鶴嘴山

日時；12月3日(土)

参加者；A班 L和田 SL澤田(律) 荒尾 池尻 狩集 竹内 武田

B班 L上田 SL松下 阿蘇 大石 澤田(卓) 渡邊(俊)

行動記録：東嘴崎駅9：05～古宮天満神社9：25～屏風岩9：45(9：50発)～鶴嘴山10：35  
(11：00発)～

12：35(12：45解散)



## 一口感想

昨夜からの雨で今日の山行は中止だと思っていたのが朝になって明るくなってきました。(実は私晴れ女)あわてて用意をし、出かけました。途中少し雨に降られましたが、山々の素晴らしい紅葉をみながらお昼過ぎには、志んぐ荘に到着。昼間から温泉に浸かり帰路に着きました。

## 池尻



## 書写山

日時：12月10日(土)

参加者：L澤田 SL西村 足立 狩集 蔵田 小山 砂川(美) 瀧原

行動記録：姫路駅バスターミナル 9:40 刀出 10:17～登山口 10:50～奥の院 11:35～展望台 11:50(昼食 12:50 発)～摩尼殿 13:25(13:45 発)～白山権現 13:51～ロープウェイ 山上駅 14:32～東坂登山口 15:07～書写登山口 15:08～姫路駅 15:50

## 久しぶりの書写山

### 蔵田

書写山は何度かロープウェイ方面から歩いていますが、何十年ぶりでしょう。

姫路駅よりバスで刀出登山口まで行き、小さなお堂、古墳跡のある広場でストレッチ、そこは銀杏の落ち葉が真黄色のジュウタンになっています。

刀出コースは近畿自然歩道であり近場とは思えない山気分を味わえるいい道です。歩き始めてすぐ竹林の中に赤い鳥居が見えます。自然のくぐり戸のような垣根の入り口です。何の建物があったのだろう。石垣、空間の中にお堂のみでしたが手入れされていました。昔の人の信仰心を感じます。



11時50分頃、少し早いですが展望台でゆっくり昼食。紅葉はすでに終わっていましたが、観光客も少なく貸し切り状態です。本殿へと向かいます。大講堂、食堂、常行堂は「コ」の字型に配置され建物は見事な木組芸術

です。彩色のあせた建物とこの空間はとても、心癒されます。少し脇道より書写山最高峰白山権現社を踏み摩尼殿へ。参道は少し紅葉を楽しめました。本殿に「永代供養5万円安いな」「納骨もしてくれる」「由緒あるお寺やしー」とか現実的な話で盛り上がりました。毎年、田んぼに描かれる姫路城アートの見える展望台。少し急登な岩場を下り、東坂参道を下山。西比叡山と言われるだけあって山も深く見どころ満載。スケールの大きさに改めて感動しました。違うコースをまた、歩いてみたいと思いながらゆっくり、のんびり歩いた楽しい1日でした。

## 長峰山～摩耶山縦走

日時：12月11日(日)

参加者：L砂川(延) SL和田 青山 小山 嶋澤 瀬尾 多木 大谷 野村 巻藁 松下 水上 渡邊(俊)

行動記録：阪急六甲出発 9：05～水場 9：39（休憩 5 分）（登山口）9：44（10：15 発）～  
 長峰山 10：59～杣谷峠 11：30 昼食（12：06 発）～穂高湖 12：18～摩耶山・掬星台  
 13：05（13：22 発）～摩耶山頂 13：28～旧摩耶の大杉 13：50～行者茶屋 14：20  
 （14：25 発）～14：50（休憩 5 分）～東山 15：16-ストレッチ（15：25 発）～新神戸  
 駅（着 15：38）（所要時間 6：33:休憩時間 88 分を含む）

## 六甲・長峰山に参加して

いろんなコースの六甲に登りたいなと思いつつ、参加できませんでした。久しぶりで参加です。晴れてはいたものの当日は寒い朝でした。皆さんに迷惑をかけずに、付いていけるか心配していましたが、阪急三宮駅で瀬尾さんと出会い、ほっ～と安堵しました。阪急六甲のホーム、少し早かったが参加者 13 名が揃う。

住宅地のきつい坂道、六甲高校、神戸松蔭女子学院をぬけて歩くこと 30 分のウォーミングアップです。

寒かったので着込んでいた衣類の調節をして 9 時 40 分、山道に入りました。高低差があり、きつい山道でしたが、後をふり返ると神戸の街や海を見て、心地よい汗をかきながら、リーダーが同じ歩調で進んでくださいましたので、何とか付いてゆけました。

長峰山頂（天狗塚）は岩がつまれた 6 畳ほどの小さな高台塚でした。吹く風は冷たく休む間もなく早々に下りました。「自然の家のグランドで昼食です～」の言葉に足は速まる。陽だまりが見え、暖かそうと着込んだのは束の間でした。持っていたポットの暖かいお茶の美味しかったこと。トイレをお借りした自然の家で、靴を脱ぐ時の暖かさが、ホ～としたひと時でした。六甲の空気の冷たさを実感し、12 時過ぎ自然の家を後にして摩耶山に向かう。ケーブルや車で来れる掬星台では大勢の方が訪れていましたが、私たちは摩耶山の三角点に立ち、寺院の焼跡地を下って行く。寒い日でしたが、歩いて体が温まると、黄葉、緑葉、紅葉と色さまざまのもみじが目についた。12 月半ばだというのに、谷あいのもみじは日光をあびて美しくかがやき見事でした。予定通り 3 時半に下山し、新神戸駅に着きました。初めて、後の親睦会にも参加させてもらいました。よき天気恵まれ、美しい紅葉狩りができ、仲間に加えていただいて楽しい山行の一日でした。



## 青山

### 多紀連山（小金ヶ嶽、御嶽、西ヶ嶽）

日時：12月17日(土)～18日(日)

参加者：CL 砂川(延) (途中参加)：水上

La 上田 SLa 澤田 荒尾 内海 垣内 坂田(俊) 澤田(卓) 嶋澤 荘所 瀬尾  
 中嶋 西村 和田

Lb 砂川(延) SLb 青山 井上 狩集 砂川(美) 武田 時井 長谷川(孝) 森川

Lc 松下 SLc 須増 大石 大谷 尾越 貝塚 小山 長谷川(易) 舛賀 待場  
 三木(悦) 山本 渡邊(俊)

行動記録：17日 山電高砂駅、JR宝殿駅 8:30 JR加古川駅 9:00 滝野庁舎下 10:00

Aコース 御嶽口 11:00～登山口 11:30～火打岩ルート合流点 12:00(12:15 発)～大岳寺跡 12:49～御嶽避難小屋 13:26～御嶽頂上 13:30(13:45)～西ヶ嶽 14:45(14:50 発)～藤岡ダム 15:55

Bコース 大たわ駐車場 11:30～御嶽 12:10(12:50 発)～西ヶ嶽 14:00(14:10)～藤岡ダム駐車場 15:20

Cコース 大たわ駐車場 11:15(11:37 発)～小金ヶ嶽 12:18(12:40 発)～大たわ駐車場 13:17(13:27 発)～御嶽頂上 14:07(14:10 発)～西ヶ嶽頂上 14:55(15:03)～藤岡ダム 15:50

18日 新たんば荘 9:00 市内散策 9:15(11:45 発) 山電高砂駅 15:30

## 納山会に参加して(Aコース)

### 中嶋

1日目:少し寒いが雲一つない晴天日。8:30 宿泊先のマイクロバスで山電高砂駅を出発、JR加古川駅で宝殿駅からのバスと合流、途中で加東市からの参加者が同乗し多紀連山に向かう。途中篠山口駅でトイレ休憩。



私はAコースを選択したので御嶽口登山口で下車。B、Cコースはそのまま通過していった。

11:30、上田さんを先頭に13名で出発。入山口が分かりにくかったが、田からおばさん、家からおじさんが親切に教えてくれる。獣進入防止柵の扉を開け山道に行く。2～3人が並んで行けるほどの道幅であるが、落ち葉に覆われ滑り易い。ヒノキ林があり登りが続く。火打岩との三差路で休憩、リーダーより[出発が遅れたため休憩時に適宜昼食を取るよう]指示があり、休憩中に弁当を半分食べる。尾根道を登って行くと鳥居堂跡、次いで大岳寺跡があった。この地は、鎌倉から室町時代にかけての丹波修験道場の中心地で大和修験道に敗れるまでは隆盛を誇ったと伝えられている。大岳寺跡を過ぎると急な登りとなり岩場に出た。頂上下の東屋で休憩中残りの弁当を食べる。直ぐ上の東側の峰にある石室で若者が一人休憩中であつた。27段変速のマウンテン自転車を担いで来たそうで、話の中でBグループが通過したことを聞く。近くにある御嶽山頂は360° 視界で大江山、六甲山、瀬戸内海、播磨の山、山頂に雪の積もった但馬の山々等が展望できた。ここで全員写真を撮る。ここより急な下りがあった後またピークへの登りがあり、その後また下りとなる。栗栖分岐を過ぎると、西ヶ嶽への上りが続いている。だんだん疲れてきたがもう少しとガンバル! この頂上からも360°の展望が楽しめた。これより藤岡ダムまで下りのみであつたが、途中落ち葉に埋もれた急斜面の階段があり滑る人が何人も出た。尾根沿いの下り道で、下山道を探索中にCグループに追い越された。奥ノ池、藤岡ダムで下山予定の15:30を過ぎる。15:50冠木門が有りこの門をくぐり振り返ると“この先藤岡ダム”の大きな文字が書いてあつた。やっと待機中の車に到着、30分遅れであつた。ストレッチ後、3グループ全員が2台のマイクロバスで本日の宿泊所[新たんば荘]へ。総勢36名が4人部屋にそれぞれ分かれる。入浴後、18:00より21:00まで詩吟、和太鼓、カラオケ等余興やかくし芸の華やかな宴会があり、部屋で23:10まで二次会で盛り上がった後、就寝。

2日目 7:30よりバイキングの朝食。高御位山遊会以外の宿泊客もかなりいた。9:00より11:45まで篠山市内を自由散策となり篠山城址前で、それぞれのグループに



分かれて遊観する。私達4名は、城址跡見学、酒蔵の見学と試飲、春日神社の能楽殿、けやき工房や土産物屋等を回った後コーヒータイトム。昼食は予約注文済みのうどん、そば、釜飯、カレーを食べ、玄関先で記念写真を撮る。2台の送迎用マイクロバスに分乗、途中ひまわりの丘公園で休憩後帰路に着く。帰宅したのは15:30であった。楽しい納山会を有難うございました。

## Cコース

御嶽は、ずいぶん前から行ってみたい山でした。

当日、A・B・C3コースに分かれて登るのですが、一番長いコースに挑戦してみようと、Cコースに決めました。少々鎖場があるらしいけど、高低差もあまりないし、なんとなくわと気楽に歩き始めました。ところが、次々と現れる鎖場。またか・・・またーあ・・・「三点確保だ」下りは危ないなあと思いながら、なんとか小金ヶ嶽に登頂です。山頂には方位盤があり、東の方に雪をかぶった山が見えました。食事が20分と短めでしたが、寒かったのでよかったです。

大たわまで戻り、今度はBコースをたどります。しかし長い階段が待っていました。一段が高いので、参りました。しんどかったなあ・・・やっと御嶽について一休み。まだ先があります。何度も上り下りしてようやく西ヶ嶽に到着。3

## 大石

60°見渡して　ん！！　イイ山並みだわ。名前は判らないけどね。

さて、これからの下り、下りが怖いのです。段に傾斜があるし、枯れ葉で見えない。リーダーはどんどん下ります。さすが！！あれ・・・後ろでドスン。誰かがすべったかな？足元の枯れ葉は藤岡ダム近くまで続いてました。面白かった山でした。有意義な山でした。

納山会、翌日の篠山観光も楽しかったです。皆さん、お世話になりました。



## 播磨地区クライミング (No. 4) 山神社

日時：12月23日(金)

参加者：荒尾・本多・松下 (高御位山遊会)

はりま山岳会(1)、明石山の会(2)、神戸中央山の会(2)、北摂山の会(1)

記録：陽だまりの木 5.8 酋長の娘 5.9 南洋じゃ美人 5.10a 旧きを超えて 5.10a  
秋の木漏れ日 5.9 色は黒いが 5.10b

## \* 今年最後のクライミング \*

午後からは小雪がちらつく中でのクライミングでした。参加会が5会で合計9名、岩に掛けたロープも5本、存分にクライミングを楽しめました。参加5会の参加者を見てみると、今回も当会の参加者が一番多い！来季もクライミングのメンバーが1人でも増えるといいなと思っています。岩登りの経験を積むことで行く山が広がりますよ。

### 松下



## 三濃山

日時：12月25日(日)

参加者：La 渡邊(俊) SLa 澤田(律) 池尻 大谷 金島 小山 瀧原 中嶋 森川  
Lb 上田 SLb 松下 岡本 狩集 澤田(卓) 塩津 竹内 野村 蔵田 多木

行動記録：山電・高砂駅北側 8:00 宝殿駅 8:15 登山口駐車場 9:05(直行組と合流)

9:20 駐車場発～9:30 羅漢石仏像前～10:10 感状山城跡～11:00(休憩)～11:50

(休憩)～12:20 三濃山山頂(昼食) 12:50 出発～14:20 駐車場着(現地解散)

\* 帰路(希望者のみ)「あかねの湯」入浴

## 三濃山に登って

### 狩集

今年最後の高御位山遊会の山行です。天気予報では今年一番の冷え込みで、日本海では昨夜から雪が降っているということです。アイゼンを持ってくるようにメールがあったので、雪が降るのかもと思い、いっぱい着こんで参加しました。

予定よりかなり早く羅漢の里の駐車場に到着できました。ストレッチをして、羅漢を見学する。大きな岩のトンネルをくぐりぬけると岩壁のくぼみに石仏が肩を寄せ合うように安置されていた。素朴な彫りで、誰かに似ていそうな顔が並んでいました。400年以上前の室町時代に彫刻されたものらしい。



感状山は1336年に新田義貞の侵攻に対し赤松氏が城に立てこもって防戦し、その戦功により足利尊氏から感状を与えられた事により、感状山とよばれるようになったと伝えられています。登山道は良く整備された階段道がほぼ尾根まで登っていく。石垣が崩れたような所を過ぎ、視界が開けて広場らしいところに出る。立て札の説明書きには、曲輪、曲輪と記載してあったので、はてな？こんな山の上に遊郭があったの？と思いきや、曲輪とは「とりでの周りを土や石で囲むかこい」の

ことらしい。一つ勉強しました。

いつもは少し登るとすぐ上着を脱ぎたくなるのですが、とても寒くて感状山に着くまで脱がなかった。落ち葉のない地面に霜柱が立っていて、じゃりじゃりと音がしました。時折強い風が吹き抜けました。

感状山から三濃山までは緩いアップダウンが続き、青々とした羊歯が茂っていたり、マツタ

ケの出そうな松林があったりで冬景色の山ながら変化に富んでいました。

山上の少し手前に求福教寺があった。弘法大師によって建立され、鎌倉時代には隆盛をみた  
が、保元平治の乱で焼失しこの本堂だけが残  
ったそうです。人影はみえなかったが、寺は  
荒れた様子はなく、地元の方が管理されて  
いるのでしょう。ネットで調べると、明治の初  
めにこの山頂には14戸70人位が生活し  
ていたそうで、その後過疎化が進み、昭和5  
5年に居住者がいなくなったそうです。  
海が見える素晴らしい景色を毎日見ながら、  
つい最近まで人々が生活していたとは、その  
生活は厳しいものだったのでしょうか。暮らし  
を見守っていた赤檜の木が大切に養生され  
ていました。



赤檜の木のそばで、瀬戸内海の海や島を見  
ながらお昼の弁当を広げました。

下りは鍛冶屋川沿いの道を取り、途中に山々を湖面に映した美しい池がありました。落ち葉  
と石が混ざって歩くのに難儀しました。川沿いはすっかり冬景色でしたが、紅葉の頃、桜の頃  
は美しかろうと思いつつ、羅漢の里に戻りました。帰りに「あかねの湯」に入りました。い  
つもより時間がたっぷりあったので、ゆっくり湯船につかって、寒さも疲れも癒されました。  
計画して頂いたリーダー、ドライバーの方々有難うございました。歴史を感じた楽しい山行で  
した。

## 新春トレーニング 桶居山

日 時：1月3日(火)

参加者：La 須増 SLa 和田 森川 渡邊(健) 大谷 岡本 狩集 河合 北村 山本  
小山 多木 舛賀 清水  
Lb 砂川 SLb 松下 渡邊(俊) 瀬尾 澤田(卓) 本多 尾越 小野澤(克)  
小野澤(由) 池田 添盛 岡村 森田  
Lc 上田 SLc 澤田(律) 内海 塩津 嶋澤 大石 関山 中嶋 長谷川(孝) 藤田  
巻藁 三浦 荘所 大瀬

行動記録：

長尾新池駐車場 9:30～鉄塔下 9:50～高御位山 10:12(休憩)10:20～桶居山分岐 10:55～  
11:20(休憩)11:25～桶居山 12:20(昼食・ストレッチ)12:47-三徳池 14:00(休憩)14:10～  
展望台 15:10～長尾新池駐車場 15:50

## 新春トレーニング(高御位～桶居山へ)

### 塩津

集合場所の長尾新池駐車場に着いて驚いた！例年より車が多い、人も一杯！新会員6名を含  
めた40数名の大所帯で3班に分かれストレッチ後、順次出発する。歩き馴れた山道をトコト

コ歩き鷹の巣ピークより少し手前を北西の桶居山方面へ。途中1年前の山火事の爪跡が、まだあちこちに残っている所を右に見ながら私には年毎に色々(ライオン、天狗、おさるさん)に見える人面岩をまいて、お椀を伏せたような桶居山(播磨の槍ヶ岳ともいうらしい)を目指す。

頂上で全員揃ったが、他班は食事中でごった返し状態だったので、わが班は、そそくさと下山し鉄塔下で、やっと食事にありつく。例年通りお節の残りミニミニうどんのお汁とおにぎり、食後のコーヒーにホットし健康でこのように山歩きできる日常に感謝する。20分後別所中池方面へ降り切り、いよいよ最もつらい百間岩への登りである。途中まで、にぎやかだった



話し声もすっかり聞こえなくなりました。皆もつらいのだろう！私は今回で3度目なので1つピークを過ぎて、まだまだ3つあるんだと肝に命じて歩いていたので、今までで一番楽に歩けたように思う。コースの前もっての学習の大切さが、やっとわかったように思う。

鹿嶋さんの参拝者を横目に(元旦に済ませていた)、無事全員出発点の駐車場に到着しストレッチ後解散。皆様

お疲れ様でした！

元旦のご来光登山とこの新春トレーニングは、習慣になりそうな気配です。

## 楽しめました

今回初めて会に夫婦で参加させていただきました。私は高砂の辺りに一年前に引っ越してきたばかりで、初めての山でとても楽しめました。正直高砂の山は車で走ってみたことしかありませんでしたが、軽く行けると装備も楽々で行き過ぎました。もともと学生時代、山岳系の部活をしていたので自信があったのですが山はなめてはいけませんね。相棒の水分と足の爪のトラブルで遅れをとってしまい、ご迷惑をおかけすることになってしまいました。会の方に温かいフォローを受けての完歩となってしまい、今回はとても反省しました。

久しぶりにチームで歩きとても楽しかったです。まだまだ知らない山を歩きたいのでこれから高御位山遊会に参加させていただくのがとても楽しみです。目標もできたので日々のトレにも励みたいです。これから夫婦共々よろしく願いいたします。

## 野澤

### 小



# 山行報告



## 小富士山

日 時:11月3日(木・祝)

参加者:L上田 SL澤田(律) 足立(美) 内海 大石 狩集 澤田(卓) 嶋澤 瀬尾 多木  
長谷川(易) 野村 開 藤田 三木(勉) 森永 渡邊(健)

行動記録:JR 御着駅 9:30 姫路市埋蔵文化センター9:55~10:30 登山口 10:42(ストレッチ)  
10:50 小富士山(麻生山)11:23~35 仁寿山 12:18~51 登山口 13:33(ストレッチ)  
埋蔵文化センター13:50 JR 御着駅 14:15

## 勉強になった小富士山登山

2年ほど前に、姫路バイパス側から登った小富士山と仁寿山に北側から登る山行に参加した。JR御着駅集合が9時30分ですが、最近のJRは良く遅れるので少し早めの9時2分着の電車で御着駅に着いた。皆同じような思いか、かなりのメンバーがもう来ていた。御着の駅には滅多に降りたことが無く、駅前の看板を興味深く見た。御着城跡や播磨国分寺跡など歴史的に名だたる名所旧跡の地域であることを、恥ずかしいことですがこの歳になって改めて認識した。定刻になり旧山陽道を通りながら、姫路市埋蔵文化センターへ向かった。行く道すがら豪邸の多い地域に驚かされる。埋蔵文化センターも素晴らしい設備。



弥生時代の土器と、割れた土器をつなぎ合わせて元の形に修復する現場を30分ほど見て、山裾でストレッチをして小富士山に登り始めた。

いっきに登った。ずっと登りだが、高御位山に登ることを考えればずっと楽だった。25分ぐらいで尾根に出ると、南東の方向にJR姫路別所駅

## 藤田

が見え、その向こうに高御位山が見える。そこからわずか歩いて頂上に着いた。頂上に廃寺があった。帰って調べて見ると役行者を祭った古いお寺で華嚴寺と言う(飾磨郡西国第壹番札所と書いた石柱あり)。

頂上からは姫路市の南西部から高砂市に掛けての市街地及びこれから登る仁寿山が見える。小休止後、折角登った山をどんどん下って、ほとんど下に降りた地点から仁寿山を目指した。頂上には沢山のテレビ中継所がありこの工事のための舗装した道路があるが、この蛇行した道を切り裂くようにまっすぐに登山道がある。下ってまた登るのはきつかったが約40分の計画



通りの時間で頂上に着いた。中継局の鉄塔が沢山あり、山の上という感じではなく、工業地帯の中にいるような錯覚に陥る。そこを抜け、姫路の市街が見える場所で昼食を摂った。11月と言うのに穏やかな天気で、のんびりとし楽しい昼食でした。

そこから一気に下山。若干のアップダウンはあったものの、足取り軽く下山した。今日は弥生時代を見て、播磨国分寺を知り、歴史の勉強と山登りの楽しい一日でした。

## 石鎚山

日時：11月12日(土)～13日(日)

参加者：A班 L尾越 SL 松下 金島 切貫 小山 瀬尾 荘所 開  
B班 L砂川(延) SL 待場 垣内 狩集 蔵田 田羅間(易) 巻藁

行動記録：

11月12日(土)

山電高砂6:00 宝殿6:15 伊予西条9:15 土小屋登山口11:15 昼食ストレッチ11:45(出)  
～第1ベンチ12:25～第2ベンチ12:40～石鎚神社弥山頂上14:00 着～14:30(出)  
～第2ベンチ15:35～国民宿舎石鎚16:40 着

11月13日(日)

宿舎石鎚8:00 瓶ガ森登山口駐車場8:45 ストレッチ(9:00 出)～男山9:30～(女山)瓶ガ森  
9:45～白石小屋10:35～駐車場11:15 ストレッチ(11:30 出) 木の香道の駅12:40 昼食  
(13:30 出) 伊予西条14:20 宝殿駅18:20 着

### やっと、登れた石鎚山



四国伊予の山々は既に冬支度の様子、紅葉は少し色あせ葉も落とし始めています。11月12日、昨日降った雨はすっかり止み、高い山のでっぺんは申し分のない青空です。私たち15名は晴れて念願の石鎚山登山です。車一台がやっと通れる狭い道をどんどん進み耳がツンとしたところで石鎚神社パーキングです。修行の山、険しい山の前触れが頭から離れず「ここで昼食！」となっても手に持ったおにぎりがなかなか喉を通りません。“分け入っても分け入っても青い山”歌人山頭火は四国遍路の山に自分の気持ちも乗せて唄われたとか、四国は山の深さです。食事が済むと頭上に秋日を受けながらいざ石鎚山への出発です。山道はずいぶん綺麗に整備されています。30分も登ると石鎚山が遠く姿を見せてくれました。2時間ほどで登る山とは思えないくらい遠くに見える目的地です。10年ほど前、四国には夫と何度も訪れました。四国88箇所遍

### 金島

路旅でした。歩き遍路は辛くてあらゆる交通機関と自家用車で巡る四国でした。ところが67歳の今日はなんとザックを背負って登山です。落葉を踏みしめて登ります。白装束に地下足袋、背中にほら貝を背負って登る修験者らしき人にも出会います。中ほどまで登ると山中に立派な鳥居が見えてきました。この登山道は弥山に続く石鎚神社の参道なのです。少し休憩し、水をしっかり飲んで鳥居の下で2礼2拍手1拝です。山肌に添う垂直同然の65メートル鎖に取り付く心の準備です。“私に登れるかしら・・・いや、登りたい！”落ち着きません。でもその場所に着くと何のためらいもなく登りはじめました。足を掛ける場所がつかめず、右足左足が滑ります。絶対に踏み外しはできないのです。吐く息ができず息を止め両腕の力を貯



めながら鎖に懸垂状態で登ります。調子をつかむと登っていける自分が不思議でした。しかも、3点支持を頭に置き一步一步登ります。少し登ってはしばらく肩を大きく開いて息継ぎです。腕がぶるぶる震え鎖を持っている手が外れそうになります。鎖の終盤、ここで残っている力を振り絞り鎖に手を掛け引き上げるとやっと平らなところまで上がりました。後は数珠につながった鎖を

一気に登ります。“登れたー”ザックを下ろし土の上に顔を付け無事登れたことに胸がいっぱいになりました。感激。67歳も捨てたもんやない！ひそかにガッツポーズです。3の鎖は私にはどうも無理、後はゆっくり弥山に登ることでした。あこがれていた石鎚のてっぺんに着いたのは午後の2時前、意外にも予定通りの到着です。嬉しくて四方八方に最敬礼し感激の挨拶です。遠く山並みを見ながら今年も多くの山に登ったこと、元気であることを噛み締めました。

11月13日、今日も山行。霧が立ち上る中、ゆっくり登っていくと目の前がぱっと開き、山一面

## 播磨地区クライミング

日 時：11月26日(土)

参加者：砂川(延) 本多 和田 松下 (他山岳会6名)

### いきなりの遅刻

11月26日晴天。交流クライミングに2回目の参加をしました。今回は加西市の古法華。出かける前に仕事につかまって、いきなりの遅刻です。その上渋滞にもつかまって1時間遅れで到着！岩場に着くともう始まって～。はりま山岳会の岩崎さんが笑顔で「駆けつけ3本行きます？」…って、いやいやそれは許して下さい。

この岩場は一番簡単なルートだと後ろから歩いて登り、ロープをセットできます。松下さん、和田さんも登って、ピレイして…。課題としては5.9～5.10b くらい？まだいまいちボ図(ルート

がグリーンです。背丈の低い熊笹が山肌を覆っているのです。風になびく姿はなんと優しい。昨日、石鎚山から見た黄緑のピロードを張ったような山はこの瓶が森だったのです。ほほを撫でる風が本当に気持ち良い。「そうだ！この感触は奈良の大峰山に登った時の感触」瓶が森の山から遠く霞む石鎚山を眺めます。所々に千手観音のように腕を張った松ノ木を抜け瓶壺に到着です。滴る水をおなか一杯飲んで今回の石鎚山登山をあとにしました。山と山仲間に心から感謝です。ありがとうございました。



### 本多

図)の見方が分かりません。

締め課題は、本日の最高難度。まともにこなせたのはロープをセットしてくれた岩崎さんのみで、わたしはというと…下から押し上げられるは無理やりグイグイ引き上げてくれるはとっても情けないクライミングになりました。しかも意地になって途中で降りず、次の日もクライミングがあることも忘れて腕が完全にパンプ。足も限界。古法華のゲレンデはトイレも近いし、また登れることを楽しみにしています。山遊会の参加メンバー、他山岳会のメンバー、ありがとうございました！

## 妙見山

日 時:11月20日(日)

参加者:La 待場 SLa 澤田(律) 足立(美) 金島 河合 中嶋 舛賀 森永

Lb 砂川(延) SLb 渡邊(俊) 内海 狩集 澤田(卓) 多木 関山 竹内 和田

行動記録:JR 宝殿駅 7:45 発 那珂ふれあい館 8:50～東山古墳を見学～那珂ふれあい館 10:05

～東山側登山口 10:20～三合目 10:30～六合目 11:00～展望台 11:15(11:25 発)～

八合目 11:30～消防署小屋～妙見山頂 11:45(12:30 発)～牧野側登山口 13:40～

牧野大池 13:55(14:15 発) 根日女の湯 14:45(15:45 発) JR宝殿駅 16:25

### やっと登れた「妙見山」

私にとっては初めて登る山であるが、多可町に来るたびに一番に目に飛びこむ山である。町役場から国道 427 号線を北上して加古川支流

### 内海

の杉原川を渡る橋上から川越し見るのが絶景。東西に遮るものがなく大きく広がった、どっしり座った山容は力強い。地元で「妙見富士」と親しま

れる山ならきっと好い山だろう。そんな思いで登りたく、10年ほどまえには、秋のマツタケ山のため入山禁止で登頂断念、昨年9月の高御位山遊会は雨天中止、今回やっとの登山。

当日はマイクロバスで妙見山の南側山麓にある「那珂ふれあい館」に直行。駐車場も広く立派な建物があり、ここで「TAKA ふれあいボランティアガイド」の川口さんより町の古代・中世の歴史など現物を見ての解説があった。そのなかで、この辺りは



1300年前の「播磨風土記」に登場する託賀の郡の中心地で賀眉の里であり古くから開けた土地だった。また隣に東山古墳(1450年～1400年前)群もあり、現在は公園化されている。また「妙見山」は昔の一時期は「赤金山」と呼ばれ、数カ所の銅鉱山や精錬所があり、その鉱毒災害を免れることと繁栄を祈るため山頂に妙見堂を祀った(現在もそれらしき石組が残っている)。このことから「妙見山」と呼ばれるようになった。とのことです。

地史の勉強後は目的の登山、体操を終え古墳群を後にして出発。妙見富士CCゴルフ場横の緩やかな林道を歩いていく。やがて左側に東山登山口の標識



が見える。ここからが本当の山登りであるが、このあたりは、明るく開かれた登山口に整備されている。木造階段道を通り緩やかな道を進み、3合目の鞍部に到着。ここは城山と山頂への分岐点で城山へ寄り道するが、整備された急傾斜の木道を登る。城山山頂は最近伐採されたらしく広い平面地が現れ、南側の展望ができ多可町中区の集落が一望できる。地表には城跡なのか石列が見える。なにか標示がほしかった(ふれあい館の資料によると貝野城址と記載されている)。分岐点に戻り妙見山頂へと尾根をいく。ほぼ登りばかりで、少しきつい岩まじりの所もあるが自然林の常緑灌木や赤松の木が結構多く明るい道となる。途中、草刈機を持った下山者に挨拶、地元の方で山道を整備中とのこと。有難うございます。

ログハウスをすぎ数分で山頂到着。まずは昼食、山頂は狭いが今日の展望は素晴らしい。劣化した方位盤で山名を苦労して確認。西には笠形山、飯森山、千ヶ峰、三国岳、南には翠明湖、遠くには瀬戸内海が見える。東には白髪山、黒田庄町の妙見山、西光寺山。今回はこの山頂から雪の被った遠くの稜線が見たくなった。

下山は牧野下山道を利用、ほとんど日が差し込まない道を進むが途中に樺の群生林があり花の季節に見たいものだ。山麓の赤松林もよい。近頃はこのような風景は見なくなり次回は山麓も散策したいものです。

登山だけでなく、妙見山の歴史も知り充実した一日でした。

## 六甲・石楠花山

日時:11月27日(日)

参加者:La 須増 SLa 北村 足立(美) 河合 小山 澤田(卓) 田羅間(勤) 開 水上  
白井 三木(悦)

Lb 澤田(律) SLb 砂川(延) 井上 狩集 瀬尾 瀧原 田羅間(易) 野村 増田

行動記録:神鉄谷上駅 9:20 集合、コース説明&ストレッチ(9:45 発)～登山口(炭ヶ谷経由)

10:00～獺池分岐 11:00(11:10 発)～石楠花山 11:20(11:30 発)～展望台(昼食)

11:35(12:25 発)～黄蓮谷入口(西六甲ドライブウェイ)12:40～布引谷分岐(生田川)

13:00～森林植物園東口 13:20(13:30 発)～分水嶺越分岐 13:45～地藏谷出合

14:25～市ヶ原(桜茶屋)14:30(14:50 発)～新神戸駅 15:45

### 炭ヶ谷～石楠花山～トゥエンティクロスを歩いて

山遊会での山行は7月の三の峰以来です。blankがあるので、平荘湖自主トレを数回積んでから山行に参加するつもりでしたが、北六甲

### 三木

の隠れ名山、石楠花山に魅かれました。それに北側からの登山も初めてです。表とは違う六甲の顔が見れるかも?と思い参加しました。



晩秋のハイキング日和です。神戸電鉄谷上駅集合、夏以来の久しぶりの方や初めての方との挨拶を交わし、入念にストレッチをして登山口へとスタート。

炭ヶ谷を朔行し石楠花山を目指し急坂を登って行きました。落ち葉いっぱいの雑木林や、石がゴロゴロした谷沢、途中には名前の由来？炭窯跡があったり、うっすらと暗い杉の林道や、笹をかき分け歩いたり、炭ヶ谷～石楠花山は面白いコースでした。今まで歩いたコースとは違う雰囲気を感じることができました。一汗かいた後、石楠花山(651m)山頂踏破です。展望は無し、三角点にタッチしてみんなでニコリ記念撮影。少し進み2階建ての展望台で黒岩尾根や摩耶山方面を眺めながら昼食。それ程疲れることもなかったのでつい食べ過ぎました！

会長がむいてくれたりんごのデザートでしめくり、大満足のランチタイムでした。

地図を手元に再びコンパスを合せて、台地状の石楠花山を後に黄連谷を下りました。ハイカーが増えた徳川道を少し歩き、神戸の紅葉の名所、森林植物園・東門に到着。門入口付近の紅葉

## 山神社RC

日時:11月27日(日)10時～15時30分

参加者:荒尾 大瀬 大谷 尾越 西村 本多 松下 和田

\*2009年の発案から初めて会独自で実施できました\*

ぶしゅぶしゅ妻人 5.5 私のラバさん 5.6 陽だまりの木 5.8 秋の木漏れ日 5.9  
南面左ルート 5.7 酋長の娘 5.9

### 山神社RC例会に参加して

クライミング例会に初めて参加しました。ヘルメット、ハーネス、クライミングシューズと着用し、エイト結びは学習会で何回か練習していたので分かりやすく、その点は良かったと思いました。

登る時にホールドを探すのが大変でした。そして、落ちるのではないかと不安を感じるのですがどうしても大きいホールドをつかもうとして、手足が伸びきった余裕のない不安定な姿勢になってしまいました。下る時は「椅子に腰を掛ける様な姿勢で」と、言われるのですが、怖さが先に立ち

を愛でながら小休憩です。その後、地藏谷出合いまでの1時間弱、お洒落な名前のトゥエンティクロスの(4回位クロスした)沢渡りを楽しみながら、おなじみの市ヶ原へ下りてきました。

市ヶ原の紅葉はきれいに色づいて今日のご褒美のように思えました。森林浴の後は水量豊かな布引の滝でミスト浴です。きれいになれた??気分!!

今回の炭ヶ谷新神戸のコース、谷川歩きを楽しみながら紅葉・黄葉・落葉と季節を感じ、登山道の名前の由来からは歴史を感じる良い山行でした。久しぶりに長い時間山歩きが出来て楽しかったです。ありがとうございました。縦横、登山コースが多い六甲山系は手近で大好きな山です。歩いてみたいコースがたくさんあります。またよろしくお願いします。



### 西村

思い切って手を放すことができませんでした。

登ることに必死で、終了点に到達した時は下りることばかり考えていました。しかし、「周囲の景色を見てもいいんだよ」と、言われたことでハット思い、ゆとりのない登り方をしていたと気付かされました。

登山道を登って行くのとは違った楽しみ、恐怖感を味わいました。これからも安全に山登りを続けていきたいと思った一日でした。ありがとうございました。